

# やましろ外国語教育チャレンジサイト

今年度は新学習指導要領が小学校では完全実施、中学校では移行期間の最終年度にあたり、今後の外国語教育を方向付ける大切な節目の年です。

山城教育局では、新しい学習指導要領で大きく変わる外国語教育について「やましろ外国語教育チャレンジサイト」を立ち上げ、先生方が指導される際の参考となるよう、様々な情報を提供していきたいと考えています。

先生方が新しい外国語教育に積極的にチャレンジしていけるような「やましろ外国語教育チャレンジサイト」でありたいと考えています。

また、小中学校双方の情報を紹介することによって、小中接続の一助になればとも考えています。

山城外国語教育チャレンジサイトでは以下5つの内容についてご紹介していく予定です。



新しい学習指導要領の趣旨の実現に向け、本資料も参考にしながら、取り組んでいただきますよう、よろしくお願いいたします。

随時更新をしますので御意見御感想をお願いします。

山城教育局 [yamasiro-k-gakkyo@pref.kyoto.lg.jp](mailto:yamasiro-k-gakkyo@pref.kyoto.lg.jp)

# 外国語科評価編(小学校)

～単元における評価の具体について～

5, 6年生では外国語科として評価を行います。  
 どのような視点で、どのように評価を進めればよいのでしょうか？



新学習指導要領では、単元(Unit)ごとに、内容のまとめりを、**3観点**で評価します。

外国語科では五つの領域それぞれが内容のまとめりです。

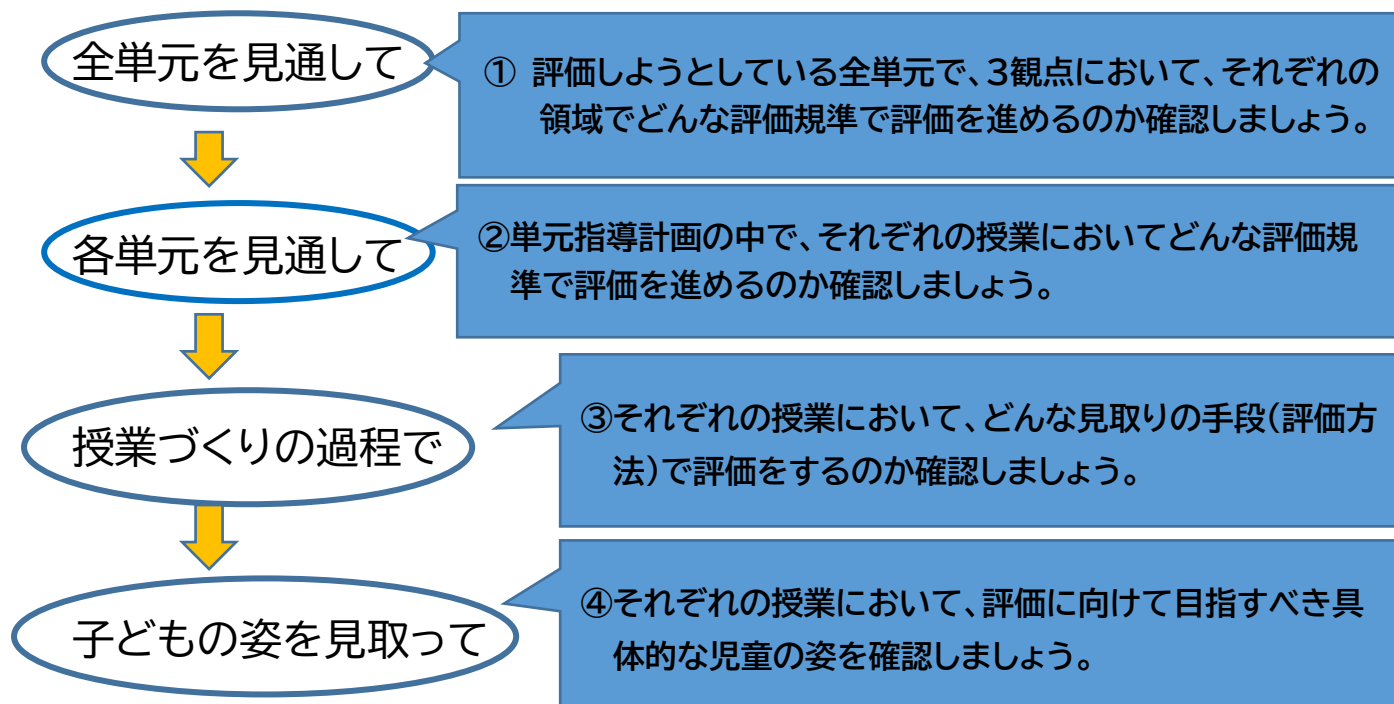
「聞くこと」「話すこと」を重点化した単元(Unit)例

五つの領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	評価	評価	評価
読むこと	なし	なし	なし
話すこと【やり取り】	評価	評価	評価
話すこと【発表】	なし	なし	なし
書くこと	なし	なし	なし

各単元(Unit)で五つの領域全てを評価をする必要はありません。重点化することが大切です。

この2つの観点は連動させて評価します。

こんなふうに評価を進めましょう



# 事例

## 第5学年 「聞くこと」「話すこと[やり取り]」における、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の評価方法等に焦点をあてた事例

### 1 全単元を見通して

「指導と評価の一体化」に向けて、どのようなことに気を付けて、単元の指導と評価の計画を立てればよいのかを具体例を基に紹介します。

#### We can ! 1

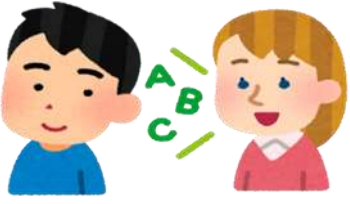

各単元ごと重点化した領域(Unit3~Unit7は略) 例

五つの領域	Unit1	Unit2	Unit8	Unit9
聞くこと	○	○		
読むこと			○	
話すこと【やり取り】		○		○
話すこと【発表】	○			
書くこと			○	○

1年を通して5つの領域が評価できるように計画しましょう。

### Unit2 「When is your birthday?」

評価規準(「聞くこと」「話すこと[やり取り]」について) \*目標は略

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<p>【知識】 月日の言い方や、I like/want～. Do you like/want～? What do you like/want? When is your birthday? その答え方について理解している。</p> <p>【技能】 誕生日や好きなもの、欲しいものなど、具体的な情報を聞き取る技能を身に付けている。</p>	<p>相手のことをよく知るために、誕生日や好きなもの、欲しいものなど、具体的な情報を聞き取っている。</p>	<p>相手のことをよく知るために、誕生日や好きなもの、欲しいものなど、具体的な情報を聞きとろうとしている。</p>
話すこと やり取り	<p>【知識】 月日の言い方や、I like/want～. Do you like/want～? What do you like/want? When is your birthday? その答え方について理解している。</p> <p>【技能】 誕生日や好きなもの、欲しいものなどについて、I like/want～. Do you like/want～? What do you like/want? When is your birthday? 等を用いて、考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。</p>	<p>自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために、自分や相手の誕生日や好きなもの、欲しいものなどについて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合っている。</p> 	<p>自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために、自分や相手の誕生日や好きなもの、欲しいものなどについて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。</p> 

この単元では「聞くこと」「話すこと[やり取り]」について評価をします。他の領域は目標に向けて指導は行いますが(評価規準略)、本単元内で記録に残す評価は行いません。

## 2 各単元を見通して

単元の評価規準を基に「指導に生かす評価」と「記録に残す評価」の評価場面を精選して位置付けましょう。

### ポイント 指導に生かす評価

記録に残す評価場面のない授業においても、指導改善や児童の学習改善に活かすために、児童の学習状況を継続的に確認し、単元や学期末の評価を決定する際の参考にしていきます。



### ポイント 記録に残す評価

単元の中で3観点5領域を評価する場面を適切に設定します。この単元では「話すこと[やり取り]」における「思考・判断・表現」を中心に見取るというように年間で計画を立てることが重要です。

### ポイント

#### 【指導の工夫】

英語での言語活動（やり取り）の状況を見取り、努力を要する状況の児童を中心に、教師がペアになったり、活動後に全員一斉に尋ねたりして指導します。

### 単元評価計画事例(全7時間)

時	主な学習活動	重点	記録	評価規準(評価方法)
1	・月の言い方を知る。			月の言い方を理解している。(行動観察)
2	・月名を聞いたり言ったりすることができるとともに、日付の言い方を知る。			月名を聞いたり言ったりすることに慣れ親しんでいる。 日付の言い方を理解している。(行動観察)
3	・誕生日や好きなものを聞き取ることができる。			誕生日や好きなものを聞き取ること慣れ親しんでいる。(行動観察) 指導に生かす評価
4	・誕生日や好きなもの、欲しいものを聞き取ったり、それらについて尋ねたり答えたりして伝え合ったりすることができる。	知	○	指導者の誕生日や好きなもの、欲しいものを聞き取っている。 (行動観察、ワークシート記述分析) 「聞くこと」の記録に残す評価
5	・相手のことをよく知るために、誕生日などについて短い話を聞いて、具体的な情報を聞き取ったり、誕生日や好きなもの、欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合ったりすることができる。  友達に渡したいものを描いたバースデーカードを作成	思主	○	相手のことをよく知るために、誕生日や好きなもの、欲しいものなど、具体的な情報を聞き取っている。(行動観察、テキスト記述分析)  相手のことをよく知るために、誕生日や好きなもの、欲しいものなど、具体的な情報を聞き取ろうとしている。(行動観察、テキスト記述分析) 「聞くこと」の記録に残す評価



6	・自分のことをよく知ってもらったり相手のことを知ったりするために、誕生日や好きなもの、欲しいものなどについて尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。	知	○	誕生日や好きなもの、欲しいものなどについて尋ねたり答えたりして伝え合っている。(行動観察) 「話すこと[やり取り]」の記録に残す評価 前時に作ったバースデーカードを使っての活動状況
7	自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために、誕生日や好きなもの、欲しいものなどについて尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。	思主	○	自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために、自分や相手の誕生日や好きなもの、欲しいものなどについて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合っている。(行動観察) ・自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために、自分や相手の誕生日や好きなもの、欲しいものなどについて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。(行動観察) 「話すこと[やり取り]」の記録に残す評価

ポイント

ペアを変える等して、全員の児童のやり取りの状況を段階的に記録に残します。

\*例示している形式は、「指導と評価の一体化」のイメージをわかりやすく表したものであり、学習指導案の形式とは異なります。

### 3 授業づくりの過程で

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	行動観察・ワークシート記述観察・テキスト記述観察	行動観察 テキスト記述観察	行動観察 テキスト記述観察
話すこと[やり取り]	行動観察	行動観察	行動観察

### 4 子どもの姿を見取って

第7時での評価規準を児童の姿で示した具体例[思・判・表]



本時における「おおむね満足できる」状況(B)の児童の姿

自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために、誕生日や好きなもの、欲しいものなどについて尋ねたり答えたりして伝え合っている。

本時における「十分満足できる」状況(A)の児童の姿

上記(B)の状況に加えてバースデーカードにない野球のことを尋ね、自分の好きなものをさらに伝えている。\*主体的に学習に取り組む態度もA

I like baseball.  
I like Otani Shohei.

カードにない野球についてさらに詳しく話している

Do you like Otani Shohei?

相手にも聞き返して対話を続けようとしている

Otani Shohei is great.

感想を伝えたりして一文付け足している



## 本時における「努力を要する」状況(C)の児童の姿

自ら既習語句や表現を用いて実際に自分のことを伝えたり、相手のことについて尋ねたりしていない。

(伝えようとしているが、表現がわからない、相手に問われた事に対してのみ Yes や No だけで返答をしている) \*伝えようとしている⇒主体的に学習に取り組む態度は B

When is birthday, your birthday?

Baseball? No.

Yes. Color, blue.

既習語句だけで対話している。既習表現は使えていない。

## Q&A こんなときどうする



「努力を要する」児童に対してはどのような手立てをしていったらいいですか？

答え

正しい表現を口頭で伝えたり、振り返りシートに書いて返すなど必ず改善点を伝えましょう。

次の単元以降もまず指導者が見本となる表現を示して、児童が既習語句や表現を十分使う機会を与えましょう。



I like dog. や I want bag. などの dogs や bags の s がないような評価はどうしますか？

答え

これらは「文法事項」と捉えて評価の対象とはしていません。ただし、指導者は、そのままにしておくのではなく、

You like dogs. I like dogs, too.

などと正しい形で繰り返し、児童がその違いに気付けるよう指導をおこなってください。

学期末等、複数の単元の学習の後、ポスターの作成、発表、やり取りや、グループでの話し合いなどといった多様な活動に取り組みさせる **パフォーマンステスト** を実施し、**評価** をおこないます。様々な知識やスキルを統合して使いこなすことを求めるようなパフォーマンス課題に取り組むことによってより深い学びが実現します。

**重要!**